

学校教育目標	「人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子」 ○互いを尊重しながら伝え合い、学びをつなげて物事を深く考える子どもを育てます。(知) ○自分を見つめ自分のよさに気づき、他者を思いやり、共によりよく生きる子どもを育てます。(徳) ○自他の生命と体を大切にし、自ら健やかな体をつくる子どもを育てます。(体) ○自分らしい夢や目標をもち、地域や社会のために自分ができることを考え行動し続ける子どもを育てます。(公) ○自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図り、共に分かり合おうとする子どもを育てます。(開)				
	創立 57 周年	学校長 犬塚 真	副校長 中西 建介	2 学期制	一般学級: 21 個別支援学級: 5
学校概要	児童生徒数: 731 人 主な関係校: 汐見台中学校・森中学校・浜小学校・山王台小学校・屏風浦小学校・森東小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	汐見台中・森中学校 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<探求心・問題解決力>	汐見台中学校 森中学校 浜小学校 山王台小学校 屏風浦小学校 森東小学校	自他の心を大切にし、主体的に考え行動する森・汐見台の子どもたち 「コミュニケーション能力の育成」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科領域においてテーマを意識した授業を展開する。小中合同授業研究会でお互いの授業を見合い、協議会でその手立てについてやコミュニケーション能力の育成を教育活動の中心に据えて各校が教育活動を展開してきたことが子どもの具体的な姿としてどのように表れているのかを話し合うことで教育活動を検証していく。

中期取組目標	○ひと、もの、まちのつながりを広げながら、子どもたちが探求心をもって学び、問題解決力を高められる学校を目指します。 ・子どもたちが学び合いながら自分の考えを深められる授業づくりを推進し、目的意識をもって学び続ける力を育てます。(知) ・深く多面的な児童理解と一貫した児童指導をチームで進め、自己有用感と規範意識を育てます。(徳) ・安全に関する指導と児童の運動量の確保を進め、健康な生活を実践する態度を育てます。(体) ・地域に目を向けた学習や様々な交流活動及び、福祉教育を通して社会に参画する姿勢と共生社会を形成する意識を育てます。(公・開) ・職員一人ひとりが自身のキャリアステージを自覚し、人材育成がチームの中で連鎖する有機的な組織づくりを推進します。(組織運営・人材育成)
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①問題の解決に向け、見通しをもち筋道立てて探求していく力を高められるようにする。友達と伝え合う中で、自らの考えを広げていく力を高められるようにする。②めあての確認や課題の把握、振り返りなど、思考の流れが掴みやすい授業展開や板書の工夫を行っていく。話し合う活動などで、状況に応じて話型を活用したり、主体的に情報を収集・整理・分析し課題の解決に繋げたりする子どもの育成をめざす。
担当 学習指導・評価部会	
徳 人権教育	①自分らしさについて考え自分の良さを発揮しようとする心や、自他の違いを認め共に気持ちよく過ごそうとする心を育てる。②異学年交流や個別支援級理解を進め、自他の違いに気づき、相手を思いやる態度を育てる。規範意識を大切にすることを誰もが安心して過ごせる学校風土づくりにつなげる。日々の学習の中で人権教育に取り組むことで、自然な人権意識の高まりを目指す。
担当 児童指導・人権部会	
体 体力向上	①さまざまな活動を通して、体を動かす楽しさやよさを感じ、日常的に運動に取り組もうとする姿勢を身に付けていく。②新体力テストの結果や探求運動タイムでの取り組み状況について学校保健委員会で話し合い、個人や学校での課題の解決に向けて、さまざまな運動活動に取り組む。また、日常的な活動にしていくために活動カードを活用していく。
担当 健康・安全部会	
公開 地域連携	①探求心をもって考え方の異なる他者とかかわったり、地域に関する学習をしたりする中で、「主体的にかかわろうとする姿勢」「良さを発見する力」「多様性を尊重しようとする態度」「問いを見いだす力」の育成を行う。②福祉教育や生活科・社会科・総合的な学習の時間等を核として、自ら問いを見いだして地域の人、もの、ことと関わる中で、地域を大切にしようとする態度を養う。
担当 地域連携部会	
いじめへの対応	いじめの未然防止、早期発見・早期解決の三段階において、いじめ防止対策委員会が中核となり情報の収集や記録、対応に関する役割分担をし、調査を行う判断や対応を行う。また、この委員会は児童指導部会と連携し、いじめ未然防止のための情報交換、子どもの実態把握に努める。5月に実施する記名式のいじめアンケートを未然防止、早期発見につなげていく。
担当 児童指導・人権部会	
人材育成・組織運営(働き方)	一人ひとりの専門性が発揮できる場作り、経験年数の少ない職員も様々な役割に自覚と責任、実行できる校内組織体制の整備、協力体制の構築を図るために、管理職の方針の基、主幹教諭や関係部署の主任が中心となってリーダーシップを発揮し、人材育成を行いながら活気ある組織運営を行う。
担当 主幹教諭・教務	
地域学校協働活動	学校教育目標の実現に向けた具体的取組を共有して学校・家庭・地域の意思疎通を図り、新校舎移転後の学校運営に関する保護者や地域の意見等を反映させながら、よりよい学校づくりを推進する。学校地域コーディネーターを中心に地域人材を活用したボランティア活動を継続するとともに、新校舎移転後には新たな学校教育ボランティアが加わり読書活動の更なる充実を図りながら児童の豊かな心を育成する。
担当 主幹教諭	
担当	b8
担当	
担当	b9
担当	
担当	b10
担当	

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子」
○互いを尊重しながら伝え合い、学びをつなげて物事を深く考える子どもを育てます。(知)
○自分を見つめ自分のよさに気づき、他者を思いやり、共によりよき生きる子どもを育てます。(徳)
○自他の生命と体を大切に、自ら健やかな体をつくる子どもを育てます。(体)
○自分らしい夢や目標をもち、地域や社会のために自分ができるところを考え行動し続ける子どもを育てます。(公)
○自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図り、共に分かり合おうとする子どもを育てます。(開)

教育課程全体で育成を目指す資質・能力

<探求心・問題解決力>

具体化した資質・能力

- 伝え合うことで考えを発展させる力
○協働的に解決策を見いだし実行する能力
○試行錯誤する能力
○問題を発見する力

中期取組目標

○ひと、もの、まちのつながりを広げながら、子どもたちが探求心をもって学び、問題解決力を高められる学校を目指します。
・子どもたちが学び合いながら自分の考えを深められる授業づくりを推進し、目的意識をもって学び続ける力を育てます。(知)
・深く多面的な児童理解と一貫した児童指導をチームで進め、自己有用感と規範意識を育てます。(徳)
・安全に関する指導と児童の運動量の確保を進め、健康な生活を実践する態度を育てます。(体)
・地域に目を向けた学習や様々な交流活動及び、福祉教育を通して社会に参画する姿勢と共生社会を形成する意識を育てます。(公・開)
・職員一人ひとりが自身のキャリアステージを自覚し、人材育成がチームの中で連鎖する有機的な組織づくりを推進します。(組織運営・人材育成)

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (授業改善) and 具体的取組 (①問題の解決に向け、見通しをもち筋道立てて探求していく力を高められるようにする。)

学力向上に関わる本校の状況
(1)学力に関わる児童の実態
○自分の思いや考えを自信をもって発表できる児童が限られている。
○語彙が少なく、自分の考えや思いの表現の幅が狭い。
○自分の考え方や計算の仕方を説明する力を身に付けていきたい。
○予想をもとにして調べることや調べ方の見通しを立てたり、問題の解決につながる資料を集め、読み取ったりすることには課題が見られる。
○考えたことを文章にしたり、相手に自分の意図が伝わるように表現したりする力に課題を感じる。
(2)これまでの学校の取組状況
○自分の考えを自信をもって伝えられるように、話型、話し方、聞き方を指導している。
○語彙を増やせるように、言葉集めや言葉遊びを学習の中で取り組んでいる。
○自分がどのように考えたのか「見える化」して表現できるように指導している。
○自分の考えを説明したり、友達がどのように考えたか理解したりする時間を設定している。
○調べて分かったことを根拠を示しながら説明したり、学習問題に対する自分の考えを表現したりする機会を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の過程を重視した学習展開を行っている。
○ペアやグループの活動を通して伝え合う活動の充実を図っている。
○問題解決の過程や結果について、どう考えたかを図や数、式を結びつけながら友だちと説明し合うことで自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを聞いたりする楽しさを味わえるようにしている。

Table with 2 columns: 今年度の目標 (見通しをもって筋道立てて探求していく力を高める) and 目標を実現するための具体的行動プラン (上半期: 学年職員での教材研究, 下半期: ICT機器の効果的な活用)

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (人権教育) and 具体的取組 (①自分らしさについて考え自分の良さを発揮しようとする心や、自他の違いを認め共に気持ちよく過ごそうとする心を育てる。)

豊かな心に関わる本校の状況
(1)児童の実態
・児童アンケートによると、約9割の児童が「学校は、自分が安心して過ごすことができる場になっている」と回答しているが、1割の児童は不安を抱えている。
・人の思いを汲み取ったり、想像したりすることで他者への理解を深める力に関して課題が残る。
(2)これまでの取組内容
・人権週間では、人権意識の向上のために、各クラスで話し合い、多様性を認め合うための目標を立てた。
・いじめアンケートやYPアセスメントを通して児童の心の声に耳を傾け、いじめの早期発見や児童の困り感に対する理解につなげてきた。
・児童の様子を話し合う機会を多くもち、日常的に懸念事項に関しては一人ひとりに話を聴くようにしていることや丁寧な児童対応を心がけてきた。
・委員会活動を通して自ら進んで挨拶ができる子を目指して学校全体で取り組んできた。
・児童だけでなく、職員の人権意識を高めるために、校内研修を行った。
・委員会の活動を通して自ら進んで挨拶ができる子を目指して学校全体で取り組んできた。
・児童だけでなく、職員の人権意識を高めるために、校内研修を行った。
・委員会の活動を通して自ら進んで挨拶ができる子を目指して学校全体で取り組んできた。
・児童だけでなく、職員の人権意識を高めるために、校内研修を行った。

Table with 2 columns: 今年度の目標 (規範意識を育みながら人や自分の良さに気づき、人と関わることを楽しむことのできる素地をつくる。) and 目標を実現するための具体的行動プラン (上半期: 学年研, 下半期: 個別支援級理解)

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (体力向上) and 具体的取組 (①さまざまな活動を通して、体を動かす楽しさやよさを感じ、日常的に運動に取り組もうとする姿勢を身に付けていく。)

健やかな体に関わる本校の状況
(1)健やかな体に関わる本校の状況
○体育・健康に関する実態
・友達とともに運動や遊びを行う経験が少ない児童が多く見られる。
・運動を好む児童と好まない児童の二極化が見られる。
(2)これまでの学校の取組内容
・体育科は、上校庭・なわとび広場・つどの場・上大岡小学校(5・6年)を使い、場所の大きさに課題はあるが、運動場を確保している。
・毎週木曜日の特活タイムでは、動画資料を活用しながら室内でストレッチ・体操、上校庭でなわとびやランニングをして運動機会を設定している。
・体育科では、活動内容によってはタブレット端末を活用しながら動きの変容を実感しながら取り組んだ。また、タブレット端末に学習カードを作り、めあてと振り返りを大切にしながら指導している。

Table with 2 columns: 今年度の目標 (場所・材・活動を工夫して運動機会を設定し、探究的に活動を継続していくことで、児童の心身の健康と保持増進に励む。) and 目標を実現するための具体的行動プラン (上半期: 体育科学習, 下半期: カードの活用)